

R7年度 高校生ものづくりコンテスト（旋盤作業部門）島根県予選大会報告

令和7年4月18、19日、松江工業高校において標題の大会が実施されました。この大会の優勝者は9月に鳥取県米子市で実施される中国大会に出場することが出来ます。工業高校の機械系学科の生徒には、ものづくりコンテスト3部門（旋盤・溶接・自動車整備）と、ロボット競技大会があります。今年は島根県で溶接部門の中国大会も実施されます。そして、5年後には旋盤作業の中国大会が本県で実施されます。今大会は本校の電子機械科・全定機械科の先生方、計13名に役員をしていただきました。

本大会には、県内3校から計4名の生徒さんが出場されました。制限時間2時間の熱戦で、技能は勿論ですが、知識・思考・判断・表現・体力・気力等が求められます。そもそも旋盤とは材料（一般には金属）をチャックと呼ばれる回転部分に固定し、回転させながらバイトと呼ばれる刃物を押し付け、寸法どおりに切削加工をする工作機械のことで、この大会では寸法の精度は勿論、作品の美観、安全作業に関する意識、作業時間という4つの観点に着目して競技を行いました。結果として、松江工業高校の田部 瑛君が優勝しました。

たいへんな作業であり、誰が見ても、高校生がこのようなことが出来るのか、と驚かれます。確かに、最初は誰も上手くは出来ませんが、基礎を学び、練習を重ねることで生徒達はものすごいことが当然のように出来るようになります。その過程では沢山の失敗を重ねるのですが、それを乗り越えた先に自分の可能性に気が付きます。

これがよく言われる「ものづくりは人づくり」という言葉の意味だと思っています。4人とも見事に時間内に作品を完成させました。繰り返しになりますが、この課題を仕上げるためには、大変な努力を要します。競技大会ですので、順位はつきますが、結果は全てではありません。ここまで力をつけてきた過程の中にこそ、本当に大切な意義が込められています。現在、島根県の工業に関わる産業分野では特に人材が不足しています。全ての生徒さんは島根県の宝物です。今後ともに、研鑽を続けられ、次のステージに進まれることを期待しています。

最後になりましたが、役員先生方、次年度担当校の江津工業高校の先生方、本当にお世話になりました。有難うございました。

<選手の皆さんへ お疲れ様でした。これからが楽しみです！頑張れ～！！>

